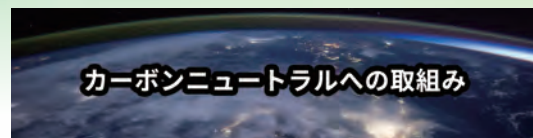


安全工学シンポジウム2024

技術・社会の変化と安全工学のパラダイムシフト

「安全工学シンポジウム2024」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。

〔日 時〕 2024年6月26日(水)～6月28日(金)
〔会 場〕 日本学術会議／ハイブリッド開催



特別講演 6月26日(水) 14:10～15:10

技術・社会の変化と安全工学のパラダイムシフト

講演者：北村 正晴 氏(東北大学名誉教授)

パネルディスカッション

- 連携PD-1 変化する技術・社会に対応する安全とリスクを考えるⅠー安全工学のパラダイムシフトー
PD-2 福島第一原子力発電所の安全確保: 廃炉の現状と展望
PD-3 変化する技術・社会に対応する安全とリスクを考えるⅡ
ー安全とリスクの捉え方の変容、安全活動に必要な技術・社会の仕組みー

オーガナイズドセッション

- | | |
|--|---|
| OS-1 リスク評価とヒューマンファクタ | OS-9 安全と安心感の可視化 |
| OS-2 安全衛生教育とクロスリアリティ | OS-10 建設工事の現業における安全問題 |
| OS-3 カーボンニュートラル施策のリスク検討フレーム
ープラスチック資源循環を例としてー | OS-11 大規模災害後のリスクガバナンス～視点の再構築 |
| OS-4 建築物における火災安全性能の見える化 | OS-12 技術・社会の変化に対する人と社会システム信頼性
・安全性の手法と課題 |
| OS-5 組織行動マネジメント(Organizational Behavior
Management:OBM)の事故などの予兆管理分野
への展開とその高度化 | OS-13 電力需要設備のスマート保安実現に向けた取り組み |
| OS-6 爆発安全対策への取り組み | OS-14 レジリエンスーその考え方を安全に活かすには？ |
| OS-7 震度7時代への備え | OS-15 半導体のソフトエラーに伴う社会インフラへの影響 |
| OS-8 老朽および遺棄化学兵器の廃棄に係るリスクの
評価と管理 | |

一般セッション

- | | |
|------------------|-------------------|
| GS-1 静電気放電と火災 | GS-6 建設の安全性・信頼性 |
| GS-2 災害避難の安全 その1 | GS-7 燃焼・火災・爆発 その1 |
| GS-3 労働安全 その1 | GS-8 燃焼・火災・爆発 その2 |
| GS-4 リスク分析・リスク評価 | GS-9 安全・安全文化 |
| GS-5 災害避難の安全 その2 | GS-10 労働安全 その2 |

主催：日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会

共催：安全工学会、他30学協会

参加方法

事前web申し込み(参加は無料ですが、ホームページから参加申し込みが必要です。)
<https://www.anzen.org/index.html>

予稿集販売

webにて事前申し込み(一般5,000円、学生2,000円)(PDFダウンロード版となります)

問合先事務局

特定非営利活動法人 安全工学会

[E-mail] anzen@gakkai-web.net

<https://www.anzen.org/index.html>